

記入例(危機関連保証申請①)

【法人の場合】⇒決算期間  
決算期が11月～10月の場合の記入例

月別売上高等推移表

(単位:円)

算区分	前年	令和2年		減少率(対前年比)	
		全体	指定業種	全体	指定業種
11月	1月	5,500,000		5,400,000	#DIV/0!
12月	2月	4,500,000		3,500,000	#DIV/0!
1月	3月	5,400,000		4,000,000	#DIV/0!
2月	4月	4,800,000		2,400,000	#DIV/0!
3月	5月	3,100,000		1,550,000	#DIV/0!
4月	6月	3,200,000		1,600,000	#DIV/0!
5月	7月	2,800,000			#DIV/0!
6月	8月	4,400,000			#DIV/0!
7月	9月	2,700,000			#DIV/0!
8月	10月	2,800,000			#DIV/0!
9月	11月	3,000,000			#DIV/0!
10月	12月	5,000,000			#DIV/0!
計		47,200,000			

【個人事業主の場合】⇒確定申告する期間  
1月～12月を記入

※一年前と比較する場合は記入不要  
一年前の売上が特殊事情により、比較対象とすることが適当でない場合に記入

記入不要

記入不要

決算書(損益計算書、法人事業概況説明書)  
売上帳簿又は試算表等  
により、月毎の売上高を確認しますので、  
ご用意ください。

【最近1か月数値の算出方法】

4月 = 実績

【最近1か月以後2か月見込数値の算出方法】

5月 =  $\frac{\text{今年4月上売上} = 2,400 \text{千円}}{\text{前年4月上売上} = 4,800 \text{千円}} \times \text{前年5月上売上} = 1,550 \text{千円}$

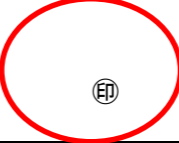
6月 =  $\frac{\text{今年4月上売上} = 2,400 \text{千円}}{\text{前年4月上売上} = 4,800 \text{千円}} \times \text{前年6月上売上} = 2,296 \text{千円}$

上記の記載の金額等は、当社の売上高等と相違ありません。

令和2年 5月15日

法人名又は商号 伊万里市役所株式会社

代表者 代表取締役 伊万里 タロウ



【最近1か月の数値】

(例として4月を直近とする)  
原則⇒4月の売上(実績)

※ただし、直近の売上実績の減少が基準に満たないが、5月上旬の売上の減少が著しい場合には、(5月前半(1～15日)の売上÷15日)×31日といった算出により実績とすることができる。

【最近1か月以後の2か月の数値】

数値に一定の根拠があるか算出方法を聞き取りします。  
例として

- ①最近1か月の対前年度に係る減少率を、前年同月に乗じる  
例: 4月実績の減少率×前年4月実績⇒5月見込
- ②最近の売上と前年同時期の減少率を、前年同月に乗じる  
例: (本年5/1～10売上÷前年5/1～10)×前年5月⇒5月見込
- ③最近の売上を月換算する  
例: 本年5/1～10売上×3⇒5月見込(30日分) など